

2021年度 東海圏減災研究コンソーシアム第9回シンポジウム

防災・減災に向けた技術開発最前線

2021.3.1 tue. 13:30 ▶ 17:00

@名古屋工業大学ラーニングコモン (講堂2階) および オンライン (ハイブリッド開催)

開場 13:00 参加費: 無料 (事前申込制)

■主催: 東海圏減災研究コンソーシアム <http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/consortium/>

プログラム

★13:30~13:35 主催者挨拶: 井戸田秀樹 (名古屋工業大学)

第一部 基調講演

★13:35~14:50 「ものづくり、ひとづくり、未来づくり

～地域の竹を用いた災害復興支援～」

陶器 浩一 (滋賀県立大学教授)



陶器 浩一: 1986年 京都大学大学院修了、1986年日建設計勤務、2003年滋賀県立大学助教授、2006年滋賀県立大学教授。日建設計では大規模建築の構造設計、滋賀県立大では素材のもち味を活かした構法開発に従事。震災復興などでの地域活動を経て、「構造は人を元気にする仕事」「頭で考えるのではなく等身大で考える」を目標に活動。

第二部 パネルディスカッション

★15:00~17:00 「防災・減災に向けた技術開発最前線」

- ・防災拠点施設のリアルタイム耐震診断システムの開発 齊藤 大樹 (豊橋技術科学大学教授)
- ・地盤災害の常識・非常識を見直した土構造物の調査・評価技術 前田 健一 (名古屋工業大学教授)
- ・子育て世代への防災啓発技術 蛭川 理紗 (名古屋大学助教)
- ・インスタントハウスによる仮設住宅の提供 北川 啓介 (名古屋工業大学教授)

コーディネーター: 井戸田秀樹 (名古屋工業大学)

本シンポジウムは感染拡大防止のため対面参加の人数を制限させていただく場合があります。詳細はお申し込みフォームをご覧ください。



会場アクセス

- JR中央本線 鶴舞駅下車 (名大病院口から東へ約400m)
- 名古屋市営地下鉄 鶴舞線 鶴舞駅下車 (4番出口から東へ約500m)
- 名古屋市営地下鉄桜通線 吹上駅下車 (5番出口から西へ約900m)
- 市バス 栄18系統 名大病院下車 (東へ約200m)

問い合わせ: 名古屋工業大学 井戸田 秀樹 (idota@nitech.ac.jp)

参加申込は前日までに下記QRコードまたは <http://adpec.web.nitech.ac.jp> から



CPD3単位登録済